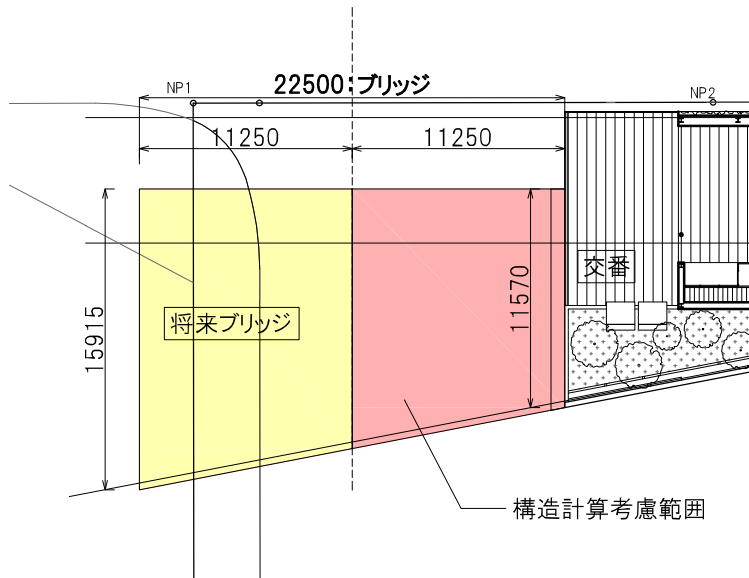


別添資料10 ペデストリアンデッキの整備概要

交番の設計当初に仮定していたペデストリアンデッキの内容

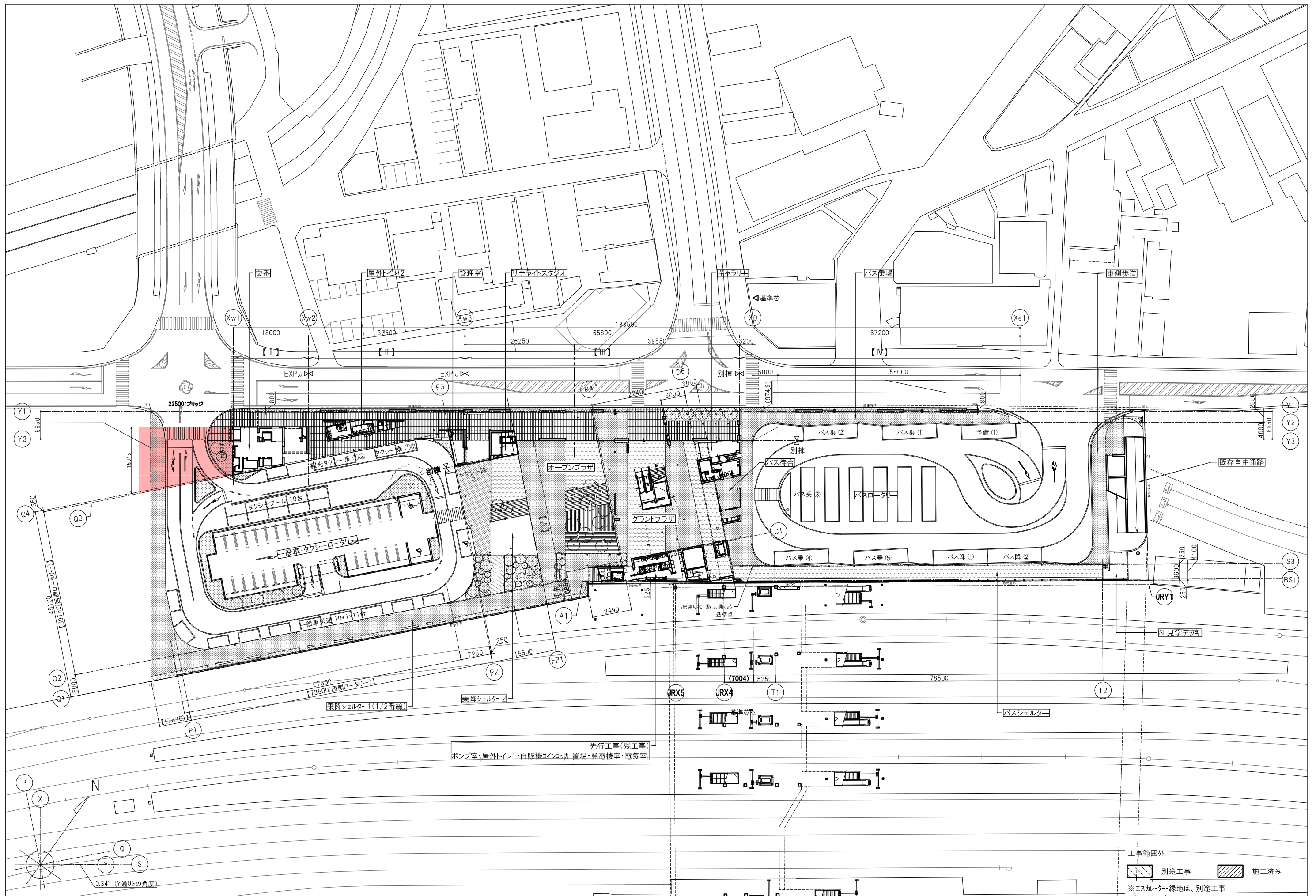


ブリッジの形状は上記に示した通りである。材質は鉄骨造。
 交番とブリッジの取り合いは、ピラーユニット支承(滑り支承)などを採用することで、
 支配面積分の長期荷重は交番側に見込んでいるが、地震力については、摩擦係数0.07分を
 交番側に考慮しても問題ないことを確認している。

想定しているブリッジの設計荷重(N/m^2)は下記の通りである。

仕上げ(再生木等)	1000
フラットデッキスラブ コンクリート $t=150$	3600
デッキ・天井等	400
鉄骨 $H=800@1200$ 程度を想定	2600
<hr/>	
D. L.	7600
L. L. (群衆荷重)	3500
<hr/>	
T. L.	11100

交番側では上記の荷重をブリッジの右半分($L=11.25m$)程度を考慮している。
 それ以上を交番に負担させることは、交番の杭などに影響を及ぼす恐れがある為
 重点エリア側では、ブリッジの左側半分を考慮した構造とすること。



広場全体1階平面図 S=1:800(A3)

